

厚生労働委託事業 EBM 普及推進事業
診療ガイドライン作成オンデマンドセミナー 議事録

日時：2019年7月3日(水) 13:00～17:00

場所：日本医療機能評価機構 10階大会議室

参加者 金高、廣瀬、丸川、關谷、橋本、金治、青山、黒田、本間、井口、中川、堤、木口、樋口、中澤、能澤、布部、藪内、吉田、角嶋 (順不同 敬称略)

概要

1. オリエンテーション 講師(森實氏、佐々木氏)紹介
2. 講義① 診療ガイドライン作成の全体像
MINDS 診療ガイドライン作成マニュアル 2017 を参照しながら、診療ガイドライン作成の全体像(スコープ作成、システマティックレビュー(SR)、推奨作成、最終化)について学んだ。
3. 講義② 診療ガイドライン作成のための SR 総論
SR の定義、定性的 SR、定量的 SR、レジストリー(PROSPERO)の紹介、SR のフロー(1.エビデンス収集、2.スクリーニング、3.個々の報告評価、4.総体評価、5.SR レポート)および推奨作成に必要な情報として「エビデンスの確実性」「益と害のバランス」について学んだ。
4. 実習 I 個々の研究報告評価
実際の randomized-controlled study(RCT)の論文例を用い、報告評価法を学ぶためにアウトカム毎の評価ドメイン(バイアスリスク、非直接性、非一貫性、不精確性、出版バイアス)を個人で評価し、次に二人 1 組でその評価について議論した。最後に、模範回答例を参考に考え方のプロセスを学んだ。
5. 講義③ メタアナリシス
メタアナリシスの手法、ソフトウェアの紹介、結果を示す Forest plot や Funnel Plot の見方について学んだ。また、研究間の異質性のアセスメントとしては統計学的な異質性の評価では測定困難であることから、バイアスリスク、非直接性、報告バイアス、非一貫性などの定性的評価と合わせてメタアナリシスの結果を評価することを学んだ。
6. 実習 II メタアナリシス
Review Manager (RevMan)を用いて 3 つの RCT 論文のメタアナリシスを実際に行った。
7. 講義④ エビデンス総体評価
エビデンス総体の確実性について、質と強さのグレーディング、グレードに関わるドメイン(バイアスリスク、非一貫性、非直接性、不精確性、出版バイアス、効果の大きさ、量反応関係、効果減弱交絡因子)について学んだ。
8. 実習 III エビデンス総体評価
4 つの RCT のメタアナリシスを例として用い、バイアスリスク、非一貫性、不精確性を評価し、エビデンスの強さと重要性の総体評価を個々で行い、次に二人 1 組でその評価を議論した。最後に模範解答例とその考え方のプロセスを学んだ。
9. 質疑応答、アンケート記入